

## 1 学校長あいさつ

校長 滝田勝彦

今年4月に赴任し、猪苗代町の素晴らしい自然環境、文化遺産、そして温かい人々と触れ合いながら、はや4ヶ月が過ぎました。公私ともに縁のあった猪苗代の地で仕事ができますことを心からうれしく思っているところです。

本校は、令和3年度から地域協働推進校・コミュニティスクールとして、地域の多くの方々に御協力いただきながら、「観光・農業・防災」をテーマに体験的、課題解決的な学習活動(地域探究学習)を行っております。これらを通して地域と共に歩み、地域愛、協働する力、よりよい社会を築こうとする力を身につけた地域や社会に貢献できる人材を育成する学校を目指しております。

### 学校目標

- 地域協働推進校として、地域と共に歩み、地域創生の核となる社会に貢献できる人づくりを担う。
- 知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力等の育成を図るとともに、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実を図る。
- 自らの意見を発信するとともに、他者の意見や考え方を受容し、他者と協力し課題解決に向かう力を養う。

## 2 生徒数 令和5年度 5月1日現在

学年	1年	2年	3年	計
	1組	1組	1組	
男	12	8	9	29
女	13	7	8	28
計	25	15	17	57

令和4年度から、各学年普通科1学級となりました。全校生一丸となって、様々な教育活動に全力で取り組んでいきたいと思っております。

## 3 防災・減災教育(1学年)

1年生にとっては、今年が初めての防災・減災教育でした。一日目は、本結びと巻き結びという結び方を教えていただきました。また、その結び方を活用し、ダンボールでベッドを作りました。その際、ダンボールの中にバツの形に組み合わせたダンボールを入れるなどの工夫をしました。二日目はHUG訓練(避難所運営ゲーム)をしました。最初は何をすればいいかわからず、先輩の指示でしか動けませんでした。後半は自分で考えて判断できるようになりました。自衛隊の方に見せていただいたHUGは、素早く的確な判断をしていてとてもカッコ良かったです。二日間の防災・減災教育で学んだ知識をいかせるように準備しておきたいです。





## 4 地域探究学習（2学年）

2年生は、毎週金曜日の5、6時間目に取り組んでいる探究学習で、猪苗代町をより良くすることを目標に4つの班に分かれ、各班でテーマを決めて活動しています。今回はアート班と中ノ沢班について紹介します。まず、アート班はアートを通して猪苗代高校を活性化させようと、使われなくなった部室をリノベーションしています。最終的には色々な作品の展示や発表の場にし、街の人たちとも交流できるような場所にしたいと考えています。中ノ沢班は、中ノ沢の活性化を目標にし、今以上に知名度を上げたいと考え、「中ノ沢検定」を作成しています。今後は3年に1度の公開文化祭(若鷹祭)などで素晴らしい発表ができるように、一生懸命活動していきます。



## 5 修学旅行（3学年）

3年生にとって修学旅行は本来ならば2年生の9月に関西方面に行く予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により延期になっていました。そして3年生になった4月、ようやく3泊4日で行くことができました。1日目は金閣寺などの散策、2日目は京都市内で班別自主研修、3日目は奈良とユニバーサルスタジオジャパン、4日目は、人と防災センターに行きました。雨に見まわれ、移動方法の変更等、大変なこともありました。とても楽しく学びのある修学旅行でした。皆で行くことができ良かったです。



## 6 生徒会

今期の生徒会は10人で活動しています。週3回のあいさつ運動、球技大会の運営、磐梯まつりのボランティア、体験入学が私たちの主な活動内容です。昨年度は生徒会役員が一丸となって、すべての行事を成功に終わらせることができました。特に磐梯まつりでは“わたあめ”が大盛況でした。今年度はそれ以上の活動ができるように全員で頑張ります。11月には若鷹祭があります。多くの方に来校していただき、すべての人が満足できるような文化祭を目標に活動していきます。行事のみならず、毎日の学校生活も充実できるよう、今年度も生徒会が中心となって猪苗代高校を盛り上げていきます。



発行者 猪苗代高校活性化委員会 会長 二瓶 盛一（猪苗代町長）  
編集 福島県立猪苗代高等学校 生徒会出版委員会

（生徒たちが作成編集しています）

電話 0242-62-3125 ホームページ <https://inawashiro-h.fcs.ed.jp/>